



Media Forest

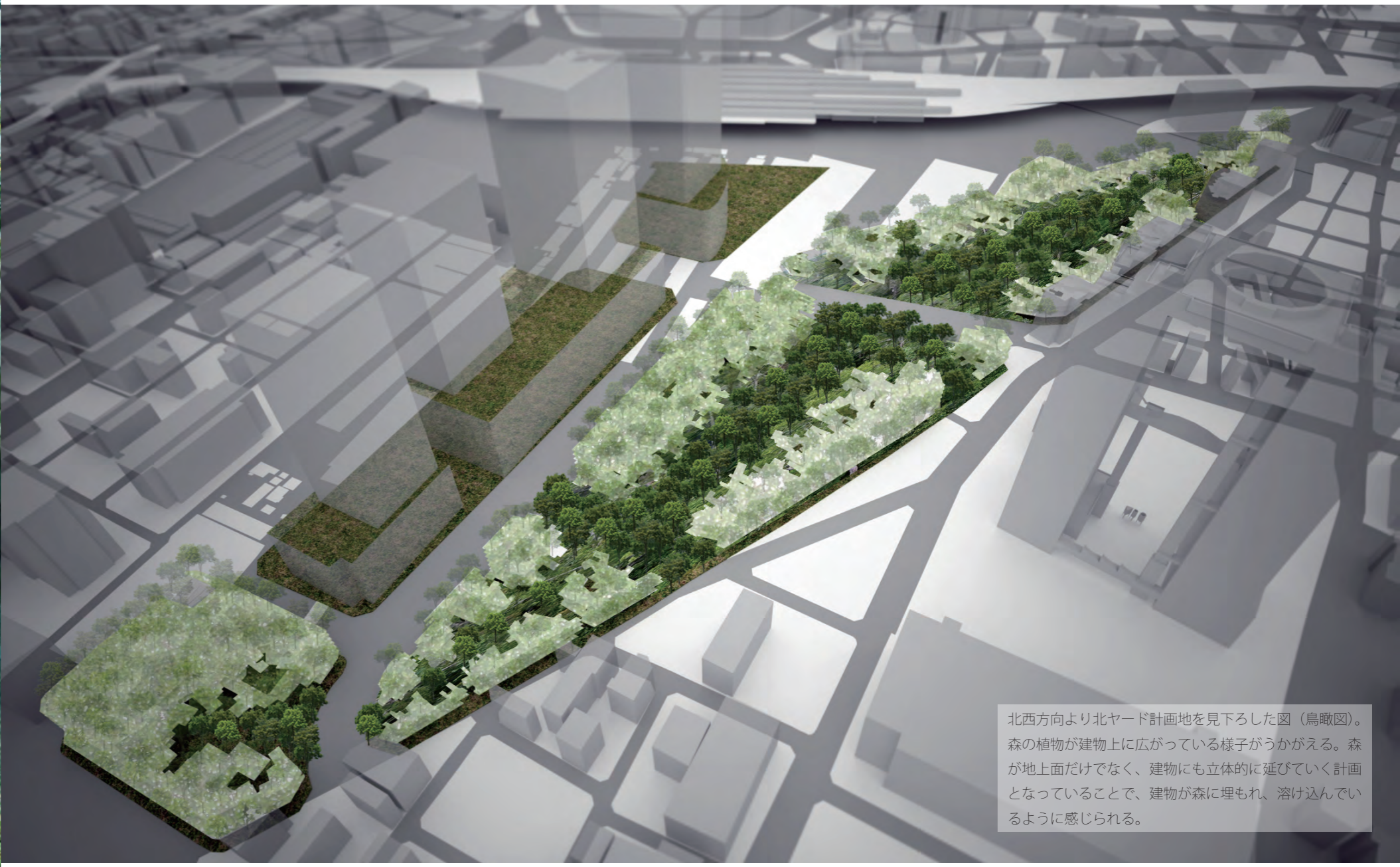
—創造・表現・体験の森—

この計画においてわれわれ大阪芸術大学チームは、都心部（大阪駅前）におけるロゴス（科学技術の最先端）とイメージ（五感の活性化と芸術創造）の交換・交感・交歓の場を提案する。

『この場での行為』

都心の10haにもおよぶ広大な敷地の中で、市民が最先端技術を体験・体感できる“森”の空間をつくる。

そこでは、市民が最先端技術を通して自然の森を体感することができる。人類の英知としての最先端科学技術を森を通して感じる。最先端の技術を利用し、森の自然をダイナミックに演出することで、このメディアフォレスは自然としての森の空間を超えた、壮大な体験を生み出す森となる。この森は、太古より人類が最初に感じたであろう五感の刺激とは違う、新たな五感を体験することのできる唯一無二の、世界でただ一つの場所になるであろう。



北西方向より北ヤード計画地を見下ろした図（鳥瞰図）。森の植物が建物上に広がっている様子がうかがえる。森が地上面だけでなく、建物にも立体的に延びていく計画となっていることで、建物が森に埋もれ、溶け込んでいるように感じられる。